

はるか

ha ru ka

VOL.22
2009.4

特集／車座トーク～移りゆく父親像、これからの父親は？～

- ・トピックス「第7回かすがい男女共同参画市民フォーラム」
- ・ジェンダーエッセー「はるかな声」
- ・いきいきピープル
- ・春日井市DV対策基本計画を策定しました！
- ・インフォメーション

平成20年度 ジェンダー絵手紙入賞作品＜最優秀賞＞

～第7回かすがい男女共同参画市民フォーラムより～



鬼頭 克治さん(押沢台)

孫のハイハイの相手だけでも大変疲れる。
娘夫婦の子育て状況と育児制度があるのを知り、このアイデアが浮かんだ。

◎今回は、「父親」をテーマに編集委員で
車座トークを行いました。

(はるか編集委員(左から)
土井 千春、西村 英文、西田 牧、中村 明美)

☆昔の父親のイメージって…



西村 昔は、父親というと一家の中心で、礼儀やしきたりなどの面でも絶対的な存在でした。自分も含めて、家族を養っていくという意識が非常に強かったんじゃないかな。昔の父親は威厳がありましたね。

西田 そうそう、一家の大黒柱でしたね。今でも、男は仕事中心でバリバリ稼いでこいという考えは根強いんじゃないですかね。共働きであっても、女性はあくまで収入の補助的に、という考えが残っているような気がするな。

中村 それに、昔は働く女性には、25歳くらいで寿退社という暗黙の了解みたいなものがありましたよね…。私の父は昭和一桁の世代で、無口で家庭より仕事を優先という人でしたけど、その背中は大きくて、守られているという実感がありました。

土井 私には、昔のお父さんというと、普段は仕事中心で帰宅時間も遅く、疲れていたりして家庭のことや家族の会話にはあまり無関心というか…。しつけなどで叱ることはあるけれど、普段は寡黙というイメージがあります。

☆時代とともに変化する父親

土井 自分の子ども時代に比べると現在の方が、お父さんが子どもを抱っこしていたり、授業参観に行ったり、子どもに関わる姿をよく目にしますね。

中村 今は、仕事も子育ても楽しみたいと思っているお父さんが増えてきたんじゃないでしょうか。

西村 昔に比べれば、週休2日や労働時間の短縮で、父親が仕事以外のことをやろうとすればできる時間は増えましたよね。それにしても男性の育児参加はまだまだ進んでいませんが。

中村 そうですね。ただ、会社によっては、長時間労働をさせざるをえない企業もまだまだ多いのではないのでしょうか。子育てに参加したくてもできないジレンマを感じているお父さんも多いと思いますよ。

西村 そういう面もあるし、意識の問題も大きいと思いますね。家庭のことや地域のことは男のやることじゃないという意識がまだまだ残っていると思うんです。

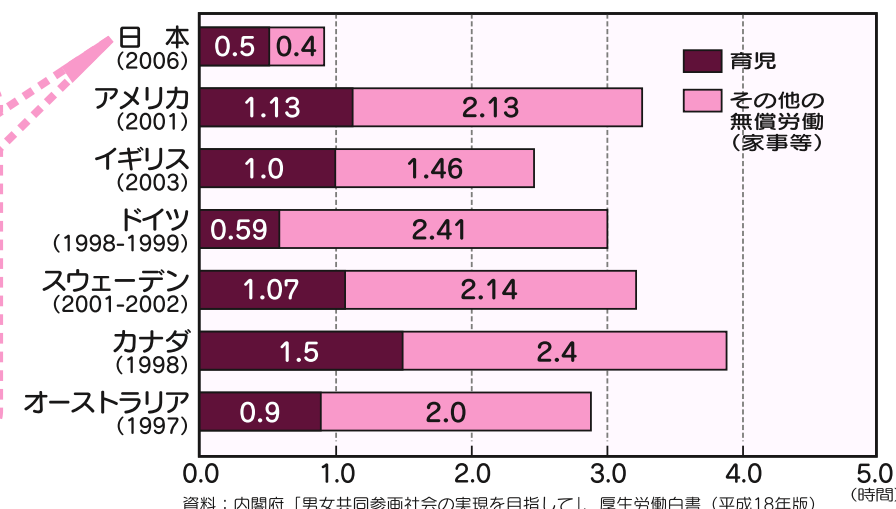
西田 確かに。地域での行事にしても、わたしの地域では、最近は男性がちらほらみえますが、やはり大部分は女性ですね。



右の表は、6歳未満児*のいる夫婦の夫の育児、家事時間(1日あたり)の各国比較を表したものです。

日本の男性の家事・育児にかかる時間は1日あたり1時間にも満たず、これは諸外国に比べても、とても短いことがこの表からも分かります。

※カナダ、オーストラリアは5歳未満児



☆これからの父親

中村 お父さんが子どもと接する時間を作る努力をすることが大切だと思います。難しく考えなくても、例えば一緒に料理をしたり、キャッチボールをしたり…。お父さんの笑顔が増えれば、お母さんや子どもの笑顔も増えて、温かい家庭を築くエネルギーになると思うんです。

西田 そうですね。行政がもっと…というんじゃなく、そうやって一人ひとりが父親としてがんばっていくのが何より大事なんじゃないかな。

土井 うーん、気持ちがあっても、男性も育児休暇を取らないといけないという法律とか、社会的な制度などの強制力がないと、なかなか動き出せない

ところもあるんじゃないかな。家庭人としての時間を通じて、子どもや妻と一緒に成長できる柔軟な心を持ってほしいし、そのための時間を取れるようにしてほしいですね。



西村 これからは仕事人間ではなくて、ワーク・ライフ・バランスへ意識を転換すべきでしょうね。私も最近地域のことや家事などやるようになって、そのこと自体苦痛じゃないし、楽しいですね。まずは意識を変えてやってみることだと思うんですよ。そうすれば楽しさややりがいもあるものです。昔と今では環境が違う。これからは、昔とは違った形で、考えていかなければいけないと思うんです。

中村 はるかが、そのための指針のひとつになるといいですね。

お父さんへの

親業インストラクターからのアドバイス

生き方や、仕事と家庭のバランスを決めるのはそれぞれの価値観です。同じように、父親としての役割にも正解はありません。しかし、家族同士で支え合っていると感じられる温かい関係が、明日への活力にもなるのは、いつの時代も同じではないでしょうか。パートナーと共に、家族を支え、絆を深めるためにも会話を意識して生活していきたいですね。父親として人として、まずは小さなことからでも語り、パートナーや子どもの話に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。(太田 智恵子氏)

トピックス

第7回 かすがい男女共同参画市民フォーラム ～かがやく個性 のびやかな暮らしを求めて～

(平成20年11月8日(土) 東部市民センター)

春日井市の男女共同参画推進月間である11月に、「第7回かすがい男女共同参画市民フォーラム」を開催しました。今回の講演では、日本テレビ系「行列のできる法律相談所」などでおなじみの住田裕子氏が、「全ての人々の再チャレンジが必要」と語りました。



弁護士：住田 裕子 氏

■講演 チャレンジ！みんなが主役の参画社会へ

◆日本女性の活躍度は？

戦後、法律や制度の上では男女平等となりましたが、国連の統計上、日本女性の能力はトップクラスにも関わらず、活躍度は70数か国中40位前後、先進国中では最下位です。

現 状

- ・国会議員や管理職の女性は、欧米では3～5割なのに対し、日本では1割程度
- ・男性に比べて女性は低所得

背 景

“男は仕事、女は家庭”という役割分担意識が強い

欧米諸国では役割分担について否定派が8～9割なのに対し、日本では、特に男性の過半数が肯定派

役割分担意識が社会でも出てくる

例) 男性→会長や副会長などのトップ
女性→お茶汲みや書記など、男性を支える内助の功

男性と女性の数はほぼ半分ずつなので…
女性が活躍できていない = 半分の力が眠ったまま。もったいない!!

◆これからのキーワードはダイバーシティ(多様性)



人口減少時代に突入し、少子高齢化も猛スピードの現在、キーワードはダイバーシティ、つまり多様性です。男性も女性も、若いも若きも、ひとりひとりの個性を活かして、いろいろな考え方や見方を取り入れていく懐の深さが求められる時代なのです！

それぞれの個性を輝かせ、思いやりと共感性をもってつながり合うのが、これからの時代には大切なこと。

自分だけがナンバーワンになることを目指すのではなく、他の異なった価値観を尊重しつつ、あなたの個性も輝かせるオンリーワンを目指し、チャレンジしていきましょう！

おふたりさまの老後

石原美恵子

私の場合、おふたりさまの老後となる確率が高い。夫がいるし、当初は核家族だったが、現在義父と同居し、独身の一人娘は、東京で働いている。将来、おふたりさま&ペット君という老後になりそうだが、これもまたよしと考えている。

夫は、時にはアッシー君だったり、茶のみ友達だったり、旅行仲間だったり、生活費は、二人で稼いだし、娘を愛して止まないひとと、たった二人しか仲間がいない。

そして、経済的にも、共稼ぎ夫婦はとにかく二人で長生きするのが、メリットが多い。

働いていた妻の年金は、本人が生きていればずっと支給されるので、夫の分と妻の分が支給される。妻が亡くなると、支給停止。夫が亡くなると3種類から選択。私の場合、夫の年金額の方が多少多いので、夫の3分の2と私の3分の2の合計を受給することになりそうである。年金もダブルポケットが有利。現役時代、ずっと夫も私も、税金と保険と厚生年金と雇用保険を納入してきたのだから多少はいいこともない。

楽しいおふたりさまの老後になるためには、家庭での男女共同参画の実現が大きなポイントになりそうである。今から、それぞれの生き方を尊重して、二人で楽しむ時、個人で楽しむ時を豊かにする準備をしている。

なんでだろうコーナー



※ジェンダーの固定観念は、こんな身近なところにもあります。

今は赤と黒だけでなく、カラフルなランドセルがたくさん並ぶようになりました。あなたなら何色を選びますか？

パパと作ろう！簡単ヘルシーおやつレシピ

しっとりおいしい☆お豆腐バナナケーキ

混ぜて焼くだけ、お豆腐を使った簡単ケーキです。お砂糖を使わなくてもバナナの優しい甘さがあります。とっても簡単なので、誰にでもできちゃう！母の日のプレゼントに、子どもさんと一緒に作ってみてはいかがでしょうか？

***材 料** (カップケーキ型 (中) で10~15個分)

- ・バナナ3本
- ・ホットケーキミックス200g
- ・豆腐100g
- ・マーガリン40g
- ・卵2個
- ・牛乳大さじ4

***作り方**

- 1 バナナ1本を残して、残りの材料を泡だて器で混ぜる。この時、バナナをへらなどでつぶしながら、牛乳とホットケーキミックスを少しずつ入れていくと、きれいに混ざります。
- 2 生地を型に流し、残りのバナナ1本を輪切りにしたものを上に乗せて、180度に温めておいたオーブンで約25分焼く。



オーブンから取り出す時はやけどに気を付けてね



くるみやチョコを入れてみてもおいしいよ

いきいき

ピープル

10年前に高蔵寺サンマルシェに自然食品店「アブリエンド」をオープンした、女性起業家の杉本順子さんにお話を伺いました。

Q：自然食品を扱うお店をオープンしようと思ったきっかけは何ですか？

A：「自然菜食」や「食養生」に昔から興味があり勉強していました。以前、自宅で料理教室を開講していたのですが、その際、自分の納得のいく食材を調達するには、自分で店を出すのが一番手取り早いだろうと思ったのがきっかけです。



Q：専業主婦から一転、起業家として忙しい毎日だと思いますが、家事と仕事の両立はどのようにされていますか？

A：私は「食事」に関しては一切手抜きをしませんでした。はっきり言って、人間、ほこりでは死にません(笑)。でも、食べることは生きることであり、それをおろそかにしてはいけないと思うんです。ですから時間のあるときに下ごしらえをしたり、煮物を作り置きしたりして、時間を有効に使っています。

Q：昨今、共働きの家庭が増えていますが、どう思われますか？

A：女性が社会に出るのは賛成。でも、家庭をおろそかにして子どもを犠牲にして働くのには反対です。心と時間にゆとりをもって、夫と妻が補い合い家庭を守っていくことが大切ではないでしょうか。

Q：将来の目標、夢は何ですか？

A：私の使命は小さな春日井のまちでだけでも根元から(子どもたちから)揺るぎの無い命を育てるお手伝いをする事だと思っています。「風邪を引いたから病院へ行く」ではなく、「風邪はなぜ引くか」ということに気が付ける人を増やしていきたいと思っています。



●取材を終えて

杉本さんにふるまっていたいただいた葛湯は素朴な味で、体の芯までポカポカになりました。

「お店に来てくださる人は『口うるさいおばさんだなあ』と思っているかもしれない」と微笑む姿は、家族の健康を願うまさに“肝っ玉かあさん”。愛情と信念を込めて「食」を語る言葉の一つひとつが、葛湯のごとく心に深く染み渡りました。

あなたのお近くの **いきいきピープル** をご紹介ください!!

春日井市DV対策基本計画を策定しました！



DVの防止やDV被害者の支援の取組を一層積極的に推進するため、「DV対策基本計画」を策定しました。この計画の期間は、平成21年度から平成25年度までの5年間です。

この施策の体系に基づいて、具体的な取組を進めます！

チラシを配ったり、講座を開いたりして、たくさんの人にDVを知ってもらいたいね。



相談する人の安全をしっかりと守りながら、すばやい対応ができるような体制をつくってほしいな。

基本課題 1

【今後の取組】

- ① 市民への広報・啓発の充実
- ② 若い世代への教育の充実
- ③ 加害者に対する取組

DVに対する理解を深めるための啓発・教育の充実

基本課題 2

【今後の取組】

- ① 相談窓口の周知
- ② 相談体制の充実
- ③ 被害者に対する適切な情報提供、対応の実施
- ④ 相談者の安全確保と保護体制の整備

安心して相談できる体制づくり

基本課題 3

被害者の自立支援の充実

【今後の取組】

- ① 生活再建への支援
- ② 精神的な支援
- ③ 子どもへの支援
- ④ 高齢者、障がい者、外国人への支援

基本課題 4

推進体制の確立

【今後の取組】

- ① 職員等に対する研修の充実
- ② 苦情に対する適切な対応
- ③ 庁内の連携体制の整備
- ④ 関係機関・民間団体等との協力・連携

基本目標
人権が尊重され、DVのない
安心して暮らせるまち
かすがい

住むところや子どもの就学、転校など、被害者がスムーズに支援を受けられるように体制を整えなきゃね。傷付いた心のケアも大事だね。

民間団体などとも協力して支援を進めていってほしいな。



春日井市DV対策基本計画は、市役所男女共同参画課、市役所情報コーナー、レディヤンかすがいなど市内公共施設や、市のホームページで見ることができます。

ホームページアドレス：<http://www.city.kasugai.lg.jp/sankaku/danjo/danjo/dv-t/dvkeikaku.html>

主な相談窓口

- 春日井市男女共同参画課DV相談 ☎85-6296

午前9時～正午 午後1時～午後4時(土・日・祝・年末年始は休み)

- 春日井市オンラインDVほっと相談 <http://www.soudan-kasugai.jp/>

- レディヤンかすがい ☎85-4188



携帯電話でのオンラインDVほっと相談は、こちらからでもできます。

女性の悩み相談	火曜日(第2・4) 火曜日(第1・3・5)、水～金曜日 土曜日(第2・4)	午前10時～午後3時30分 午後1時～午後4時30分 午前10時～正午	夫婦、結婚、離婚、家庭のこと、 ドメスティック・バイオレンス、 セクシュアル・ハラスメント、 性別による差別的取扱いなど	☎85-7871
女性のための法律相談	土曜日(第1・3)	午前10時～正午	夫婦間、金銭、相続など、女性の 身の回りの法律問題について (弁護士による面接のみの相談 で、予約制)	予約(午前9時～ 午後5時受付) ☎85-4188

注) ※火曜日の相談は、月曜日及び火曜日が祝日の場合休みとなります。

※水～土曜日の相談は、祝日も実施します。 ※相談員は、全て女性です。

- 愛知県女性相談センター(女性悩みごと電話相談) ☎052-913-3300

午前9時～午後9時(土・日・祝・年末年始は休み)

- 愛知県春日井警察署 ☎56-0110(代表)



平成20年度 ジェンダー絵手紙入賞作品〈優秀賞〉 ～第7回かすがい男女共同参画市民フォーラムより～



平川 要さん(西尾町)

この絵は、ぼくがいないところですよ。男の子でもなくことはあるので、ぜひみなさんもないてください。



池田 ふじのさん(下市場町)
見栄や、外間にとらわれることなく、生活をしている限り、生きている限り、男も女も区別することなくできる人がやればいい。

編 集 後 記

「はるか」を通じて、これまでは気がつかなかった物事に目が届くようになりました。 <土井>

2年間、「はるか」の編集を通じて出会った全ての人々に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。 <中村>

21世紀こそ真の男女共同参画が急務、万物躍動の春にあたり、反省と自己変革に努めたい。 <西田>

父親の復権、それはしっかりと家庭に地域に根を下ろすことに始まると思います。世の父親の皆さんがんばりましょう。 <西村>

取り上げてほしいテーマ大募集！

みなさんが「はるか」で取り上げたいテーマをお寄せください。また、「はるか」に対するご意見もお待ちしています。

読者の声

—はるか vol.21 を読んで—
●特に興味を引いた記事は「男子厨房に入る！」
かぶりつきで読ませていただきました。男女共同参画事業にプラスのことばかりでなく、マイナスあるいは否定的な意見があれば、もっと対照的に載せてほしいですね。

[ご意見をお寄せいただきありがとうございました]

【広告】※広告の内容に関するお問い合わせは、直接広告主をお願いします。

★ 大垣共立銀行

ダイヤルサービスセンター

商品やサービスに関するダイヤル窓口です。お気軽にどうぞ。

☎0120-8888-23 (平日 9:00～21:00)

(土・日・祝休日 9:00～17:00)

*携帯電話・PHSからは 0584-77-1350 (通話料有料)

ホームページアドレス <http://www.okb.co.jp>

豊かな創造力と確かな技術で、
あらゆる印刷物をお届けしています。

株式会社名古屋大気堂

〒461-0027 名古屋市中区芳野一丁目19-15 イーストピア19
TEL (052) 932-5201 FAX (052) 932-5203

介護付有料老人ホーム ベティさんの家 神領・高蔵寺
(特定施設入居者生活介護)

自分が年を重ねたらここで生活したい。
そして「一生悔いのない人生だった」と
心から言える施設にしたい。

問い合わせ先 ☎0568-94-0070

かすがい市男女共同参画情報紙『はるか』VOL.22
2009年4月発行

企画・編集 はるか編集委員

発行 春日井市市民生活部男女共同参画課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5-44

TEL 0568-85-6152 FAX 0568-85-5522

Eメール danjo@city.kasugai.lg.jp